

Title	對露輸出品代金ノ支拂決濟ニ就キテ
Author(s)	神戸, 正雄
Citation	經濟論叢 (1916), 3(1): 110-113
Issue Date	1916-07-01
URL	http://dx.doi.org/10.14989/127045
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

大正五年七月一日發行

第一號

第三卷

論說

資本ノ概念

資本利子稅設定ノ氣運

支那近代ノ戸口ニ就テ(二)

續正貨蓄積論

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

保險本質論(二)

雜錄

經濟雜話第四

聯合諸國輸出入禁制ノ我國ニ及ボス影響ニ就テ

對露輸出品代金ノ支拂決濟ニ就キテ

經濟戰爭ト我貿易上ノ利害

現前ノ大戰爭ニ就テノ感想

乳兒死亡率ト出生率トノ關係

らダレ一『みる』學說ノ研究(二)

本多利明ノ經濟說ニ關シ本庄學士ノ教ヲ乞フ

米國ニ於ケル移民教育機關

補習教育義務ノ可否

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

文學博士 內藤 虎次郎

法學博士 小川 郷太郎

法學博士 福田 德三

法學士 小島 昌太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

法學博士 河田 嗣郎

法學士 米田 庄太郎

文學士 高田 保馬

商學士 大塚 金之助

法學博士 福田 德三

法學博士 山本 美越乃

法學士 財部 靜治

禁)

轉

(載

對露輸出品代金ノ支拂

決濟ニ就キテ

神戸 正雄

一 露國ハ戰爭前ニハ日本ノ輸出先トシテハ全ク不重要デアツタガ、戰時ニ入ツテヨリ軍需品ノ大需要者トシテ、日本ノ大顧客トナツタ。此ハ戰爭ノ繼續スル限リ繼續シテ、彼ハ益々多ク我カ產物ヲ買取ツテ、益々我生產業ノ發達ニ刺戟ヲ與フル運命ニ在ル。戰後ニモ露獨ノ和親關係カ回復セザル以上ハ、或度マデ露國ハ我が好箇ノ顧客タルコトガ出來ル。戰後ノ關係ニ至テハ聊カ豫想困難ナルモノアル所故、暫ラク措キ、少クトモ此戰時中ニハ露國カ軍需品ヲドシドシ買入レ呉ルルニ就テハ、之ニ向ツテ我生產業ノ全能力ヲ發揮シテ、彼ノ要スル軍需品ヲ供給シテ、折角得タル好機ヲ逸セザランコトヲ努メナケレバナラス。我國トシテハ戰時ニ入り、益々在外正貨ヲ増加シ、我ノ處理シ得ヘキ資金ニ餘裕ヲ生ジツツアル所ユヘ、之ヲ以テ軍需品供

給事業ヲ擴張シ新設シテ、需要アル品物ノ生產供給ヲ爲スヘキテアル。戰後ニハ其需要カ大減退ヲ告ゲテ困ルコトニハナラウガ、其ニハ今日ノ利益大ナル時ニ準備ヲ多クシテ置イテ備フルコトモ出來ルシ、又戰後トナレバトテ、全ク軍需品需要ノ止ム譯デナク、特ニ日本政府トシテモ戰時中賣却シタル軍需品ノ補充新造ノ必要モアリ、之ヲ引受クルコトモ出來ヤウシ、此ニ應ジテ力餘レルダケデハ、平和的事業ニ轉ズルヨリ外ハナイガ、其準備ハ勿論爲スヘキコトデアリ、又爲シ得ルコトデモアル。或ハ此軍需品工業ヲ擴張スルニツキ、之カ製造機械カ日本ノ内地デ出來ズ、然リトテ外國ニ注文シテモ容易ニ出來ズ、其爲メニ思フヤウニ擴張ガ出來ストイフガ、此方ハ日本デ苦心工夫ラスレバ大抵出來ル。必要ハ萬物ノ母デアルカラ、斯カル時機コン日本ノ機械工業發展ノ時デアル。原料ナドモ内地デ足ラス所ハ支那ヤ西伯利亞ヤ、印度支那ヤ濠洲ヤ等カラ取寄セルコトガ出來ル。

二 斯クテ露國ヘ向ケテノ軍需品供給ノ生產

ノ方ハ出來ルトシテ、更ニ問題ハ露國ヨリノ代金ヲ確實ニ受取ル方法ガナイ、之ヲ何ウスルトイフコトデアル。其レガ爲メ生産者モ注文引受又ハ供給ヲ躊躇スル所デアル。露國ハ長期ノ一ふる債券ヲ拂渡シタイデアラウガ、我ヨリイヘバ期限ノ方ハ出來ルダケ短キコトガ望マシイ其方ハ兎ニ角トシテモ渡サルル債券ノ一ふる標準ナルコトハ困マル。今日ノ一ふるノ相場ハ大ニ下落シテ、既ニ我百圓ニ對スル百六十二留ニ落込シテ居ル。(註一)ガ此先キマダマダ下ルカモ知レナイ。英國ナレバ戰時中不換紙幣ガ行ハレタトテ、戰後ニハ間モナク兌換トナル蓋然ガ大イガ、露國トナルト、過去ノ實例カライフテモ戰後永ク不換トナル可能ガ大イ。然ウスルト尙ホる一ふるノ値ノ下ルコトモ豫期シナケレバナラヌ。又兌換紙幣ニナツテモ、假リニ本位貨幣ノ品位ヲ低下シテ半減デモサレタラ、同シる一ふるトイフテモ百圓ガ二百る一ふるトイフコトニモナル。る一ふるニハ此等ノ心配ガアル。勿論彼ノ財政ガ此戰爭ニヨリ大シタ打撃ヲ受ケナケレバ

雜錄 對露輸出品代金ノ支拂決済ニ就キテ

良イガ、此戰爭ガ二箇年間ニテ止ムトシテ、直接戰費ノ爲メノミニテ百五十億圓ノ國債ヲ増加スルコトナリ、之カ利子ノミニテ七億五千萬圓ヲ増加スルガ、此ハ彼國ノ

國民所得百五十億圓ニ比スレバ 五、%

國民年貯蓄額貳拾五億圓ニ比スレバ 三〇、%
戰前一九一三年度廣義租稅收入拾九億壹千五百萬圓ニ比スレバ 二九、%

デ、(註二)租稅ガ戰後ハ戰前ニ比シテ四割方増加シテ、其ガ國民貯蓄額ノ約三分一ニモ當ルトイフニ於テハ、戰前既ニ重キヲ訴ヘタル彼國ノ租稅負擔ガ一層重クナル其光景ハ想像スルダニ痛マシイ。此戰後償金ニテモ獨逸側ヨリ取レバ宜シイガ、其モ覺束ナカラウシ、其ニ前記増加負擔ニハ戰後ノ復舊費及恩給扶助料等ヲ含ミ居ラズ戰爭モ二年ト計算サレテ居ルガ、戰爭ハ二年以上續ク可能モアリ、戰後復舊費等ハ當然負ハナケレバナラヌカラ、彼國ノ戰後負擔ハ尙ホ尙ホ重イコトヲ免レナイ。不換紙幣ノ回收ハ容易ニ行ハレ難ク、假令之ガ行ハレテモ、貨幣品位ノ低

第三卷 (第一號 一一一) 一一一

(註一) 要求賣相場(中外商業新報五月二十一日)
(註二) 租稅收入ハnach Schwarz, in Finanzarchiv, XXX Jg. II Bd. 其他ハEconomist, Dec., 18., 1915.

下ナドヲ計ルカモ知レナイ。

三 デ此心配ヲ排除スル爲メニハ、是非トモ圓拂又ハ磅拂トスルガ肝要デアル。期限ガ多少長フテモ、此方サヘ定マツテ居レバ大丈夫デアル。圖又ハ磅拂デアルナラバ、戰後ニハ戰時ヨリハ露國債ハ高クナルコト請合デアル。勿論期限ハ出來ルダケ短イ方カ安全デアル。期限ヲ短クシ、借換ノ時ハ更ニ其時ノ事情ニ應シ條件ヲ更定スルコトト爲スヘキデアル。更ラニ萬全ノ爲メニハ其償還ニツキ英國又ハ聯合軍側諸國ノ政府又ハ銀行團ノ保證ヲ爲サシムルカ、或ハ正貨ヲ少クトモ一部日本ヘ現送サスルコトトスヘキデアル。此正貨ノ一部現送ノ如キハ此前ノ時ニ一部實行シタ所デアルガ、此上之ヲ爲スコトハ露國ノ好マザル所デアラウシ、又代金ノ一部ニツキ正貨ヲ持ツテ來ラレタトテ十分安全トハイヘナイ。然ラバ英國ノ保證トイフガ、英國モ此上之ヲ爲スコトヲ好マヌデアラウシ、露國トシテモ之ハ面目ナキコトデアル。聯合軍諸國ノ共同デ保證スルコトニナレバ宜シイガ、此方ハ未ダ

定マラスカラシテ困マル。

四 デ出來ルナラバ此聯合軍諸國ノ共同保證トナレバ、特ニ露國ノ不面目トモナラズ、英國ノ特段ナル負擔トモナラズ、我ニ安全ヲ與フルニハ此上モナキ方法デアルガ、此ノ定マラス以上ハ、我ハ別ニ其方法ヲ講ジナケレバナラヌ。其ニハ予ノ考デハ彼ガ西伯利亞ニ有スル鐵道、礦山及漁業權等ヲ我ガ銀行團ニ信託シテ、其抵當附ノ債券ヲ發行シテ資金ヲ得、之ヲ以テ我ニ對スル支拂ニ充ツルコトガ最便利ト思フ。特ニ鐵山ニ於テハ日本ガ其採取礦物ノ先買權ヲ得テ置クコトガ緊要デアル。日本デハ戰後益々鐵物ヲ多ク要スルノニ、西伯利亞ハ其ヲ多量ニ有テ、鐵亞鉛ナドモ澤山モツ。日本ハ之ヲ利用シテ工業ヲ進捗スヘキデアル。特ニ亞鉛工業ノ如キ、今日ハ其原礦ヲ多ク濠洲ヨリ得テ居ルガ、其濠洲ヨリ歐羅巴ニ往ク運賃ト日本ニ來ル運賃トハ平時ニ大差ナイカラ、此戰後ニハ日本ガ原礦ヲ濠洲ヨリ得テ居テハ、技術ノ進メル歐洲ト競争ガ困難トナルヲ免レナイ。デ少シデモ日本ニ近イ

所ノ支那ヤ西伯利亞カラ多ク之ヲ得ルコトニシ
ナケレバナラス。幸ニシテ此原礦ガ西伯利亞ニ
豐富ナルニ於テ、尙更ラ日本ガ之ヲ利用スヘキ
デアル。其ヲ得ルガ爲メニモ彼ノ礦山ヲ此際彼
國ニ對スル貸金ノ擔保ニシテ置ケバ宜シイ。又
此關係ガ出來ルコトニナレバ、一部ハ此原礦代
金ノ支拂ト相殺モ行ハレ得ルコトナル。愈々
以テ結構デアル。西伯利亞ノ鐵道漁業權モ擔保
トシテ重要デアルガ、特ニ此地ノ礦山ハ日本ニ
テモ此際十分ニ研究シテ之ト關係ヲ密接トスル
コトガ大ニ望マシイ。尤モ礦山ガ私人ニ屬スル
ダケデハ、露國政府ヲシテ直接其ヲ擔保ニ入レ
シムルコトハ出來ナイ。礦山所有者ガ日本カラ
礦山擔保デ金ヲ借入レ、得タルモノヲ露國政府
ニ貸上ケシムルノ方法ニ出ル外ハナイ。或ハ進
ンデ日本ノ資本家ガ西伯利亞ノ礦山ヲ買收シ、
其代金ダケ露國ニ軍需品ヲ供スル。即チ軍需品
賣却代金ダケ礦山ヲ買收スルコトノ出來ル道ヲ
開クモ亦可ナリデアル。